

せと市議会だより

令和7年6月定例会

NO.
115

2025
8月号

特集

消防指令業務の
共同運用が始まりました P2-3

📷 ～あの夏、地球と出会った～

関連記事 ➡ P11

2005年に開催された「愛・地球博（2005年日本国際博覧会）」では世界中から121の国と地域が参加し、「自然の叡智」のテーマのもと多様な文化と環境への取り組みが紹介されました。



©GISPRI



©GISPRI

自然の叡智
地球大交流

21世紀初の
国際博覧会



©GISPRI



©GISPRI

愛・地球博
20周年

アーカイブ



©GISPRI

消防指令業務の共同運用が始まりました

本市は、平成24年から尾張旭市と共同で瀬戸市消防本部内に設置された「瀬戸・尾張旭消防指令センター」にて119番通報を受信するなどの消防指令業務を行ってきました。

この度、令和7年4月1日から名古屋市・瀬戸市・津島市・尾張旭市・愛西市・蟹江町・海部東部消防組合（あま市・大治町）・海部南部消防組合（弥富市・飛島村）と消防指令業務を共同運用することになり、瀬戸・尾張旭消防指令センターは閉鎖となりました。

瀬戸市内からの119番通報を名古屋市防災指令センターが受信することになりました。

地域住民の安全・安心な暮らしを共同で見守る 名古屋市防災指令センター（高機能消防指令センター）

1 広域災害・大規模災害への効果的な対応

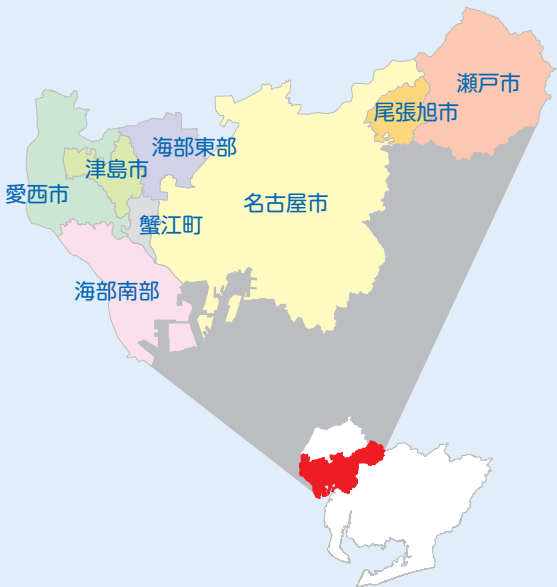
2 迅速な相互応援出動

3 消防体制基盤の強化

近隣消防機関との連携強化

複雑多様化した消防需要への対応

人員配備や施設などの効率的な運用



統計データ (令和2年国勢調査)

市町村		人口（人）		世帯数（世帯）	
名古屋市		2,332,176		1,122,103	
瀬戸市		127,792		52,273	
津島市		60,942		24,258	
尾張旭市		83,144		33,977	
愛西市		60,829		21,718	
蟹江町		37,338		16,104	
海部 東部	あま市	86,126	118,525	34,041	47,509
	大治町	32,399		13,468	
海部 南部	弥富市	43,025	47,600	17,066	18,572
	飛島村	4,575		1,506	
合計		2,868,346		1,336,514	

共同運用に関する

Q & A



Q

共同運用はいつから始まりましたか？

A

令和7年4月1日から名古屋市・瀬戸市・津島市・尾張旭市・愛西市・蟹江町・海部東部消防組合（あま市・大治町）・海部南部消防組合（弥富市・飛島村）と消防指令業務を共同運用する、名古屋市防災指令センター（高機能消防指令センター）となりました。

Q

瀬戸・尾張旭消防指令センターは、どうなりますか？

A

瀬戸・尾張旭消防指令センターは、閉鎖となりました。
現在、名古屋市防災指令センターが瀬戸市内からの119番通報を受信しています。各地域の災害情報を一元的に集約することで、近隣地域への効率的かつ合理的な相互応援体制が構築され、消防体制が充実強化されました。

Q

119番への通報は今までと変わりますか？

A

今までと変わりませんが、名古屋市防災指令センターが瀬戸市内からの119番通報を受信することとなっています。
通報の時は、住所や場所をお伝えいただく際に、**はじめに「瀬戸市」**からとお伝えいただくようお願いします。



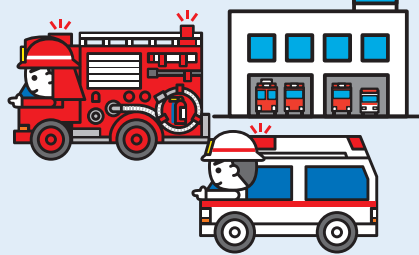
119番通報

名古屋市防災指令センター



出動指令

瀬戸消防署



緊急出動

議 会 コ メ ン ト



■今までの流れ

- 1 国は、平成18年に消防組織法を一部改正し、消防の広域化を推進するとした。
- 2 愛知県は、平成20～22年に愛知県消防広域化推進計画を策定し、瀬戸市は尾張東部ブロックとして編成され同枠組みで調査・研究したが、消防の広域化に至らなかった。
- 3 瀬戸・尾張旭消防指令センターを平成24年に運用開始。
- 4 令和元年度に愛知県消防長会に愛知県消防広域化検討会が設置され、令和2年度に「指令の共同運用を行う消防本部間で消防広域化を検討する旨」が合意された。
- 5 令和5年度に新たな枠組みで指令の共同運用を行う8消防本部（局）で、消防広域化研究会を設置することとなった。

■長期的展望による広域化対象市町村の組合せ

名古屋市の次期消防指令センターの更新時期（2040年頃）を見据え、尾張地域の市町村間で消防指令センター業務に係る意見交換が行われていることから、10年から20年後の長期展望として、尾張地域全域を1つの圏域とするとしています。

6月定例会の主な議案概要と審査内容

総務生活委員会

第46号議案

瀬戸市市税条例等の一部改正について

概要 特定親族特別控除の創設、加熱式たばこの課税方法の改正など。

Q 特定親族特別控除をはじめ、個人住民税関係の改正は、制度が複雑である。市民への周知が必要だと考える。どのように周知をしていくのか伺う。

A できるかぎりわかりやすい周知を広報やホームページで行う。電話や窓口へお越しいただいても、丁寧に説明していく。

第47号議案

高規格救急自動車(救急瀬戸2号車)及び高度救命処置用資器材の買入れについて

概要 高規格救急自動車(救急瀬戸2号車)及び高度救命処置用資器材の買入れに当たり、議会の議決を求めるもの。

Q 今回新しく買い入れる車両についてどのような点が強化され、また新しい装備について伺う。

A 車体の揺れを軽減するショックアブソーバーの強化。広い患者室の採用、電動ストレッチャーや感染症対応資器材などを搭載した。

厚生文教分科会

第51号議案

令和7年度瀬戸市一般会計補正予算(第2号)地域型保育給付

概要 多子世帯の保育料の負担を軽減し、子育て世帯を支援するため、愛知県補助金を受け、世帯年収に応じて第2子以降の保育料を無料化または軽減するもの。

Q 愛知県補助金が、第3子以降から第2子以降に拡充することに伴い、本市も拡充するということで恩恵を受ける家庭が増えていくが、実施時期と対象条件は。また、待機児童対策についてどのようなか伺う。

A 令和7年10月からの実施。無料、半額の条件は、世帯収入が470万円以下の方は無料、471万円から930万円までの方が半額となる。待機児童については、引き続き保育士確保などに努める。

第51号議案

令和7年度瀬戸市一般会計補正予算(第2号)菱野団地小中一貫校整備

概要 みつば小学校に通う児童の通学路の安全を確保するため、瀬戸西高校東の交差点付近で新たな通路などを整備するもの。

Q 6月12日に地元自治会から歩車分離信号機のある緑町交差点の活用について、通学路の再検証を求める旨の要望書が提出されたが、安全な通学路の再検証は具体的にどのようにしていくのか伺う。

A 要望書を踏まえ、保護者や地域の住民に対し、みつば小学校の通学路に関するアンケートやご意見を聴く場などを設定しながら、安全な通学路の選定を行いたい。

第51号議案

令和7年度瀬戸市一般会計補正予算(第2号)読書のまちづくり推進

概要 文部科学省からの委託を受け、図書館が学校図書館及び地域の書店と連携し、読書を通じたまちづくりを推進するため事業費を追加するもの。

Q 読書の祭典を行うとあるが、どのようなイベントを予定し、本の魅力を伝えていくのか伺う。

A 協議会を設置し具体的に決めていくが、商店街のイベント広場を使い、著名な方をスペシャルゲストに迎え、読書の魅力を伝えていただくことを行っていきたいと考えている。

予算決算委員会 都市活力分科会

第51号議案

令和7年度瀬戸市一般会計補正予算(第2号)地域産業振興

概要 市は国の交付金を活用し、愛知県ステーションAiにスタートアップ企業との連携を促進するため入居するもの。

Q 市は、市内企業の生産性向上や業務の効率化を目指す取り組みをしていると聞いているが、なぜ県ステーションAiに入居しようとするのか伺う。

A 約500社のスタートアップ企業が入居しており、市が入居することで、情報交換や情報収集が可能となり、市内企業とスタートアップ企業の橋渡し役を担い、市内企業が抱える課題解決に繋がる環境作りに取り組みたいと考えている。

〈請願第2号〉 学校給食無償化を求める請願

賛成討論



白井淳議員

- ◆ 提出者からの「物価高騰により家計圧迫が続いており、給食費の値上げは、公費負担の継続で無償化への流れを展望し、安心して子育てできる瀬戸市に」の趣旨に賛同する。
- ◆ 請願者は、無償化について段階的に求めており、犬山市や小牧市では第2子または第3子以降の児童生徒に限定した方法で取り組まれている。瀬戸市独自の方法で取り組んでほしい。



長江秀幸議員

- ◆ 特に子どもが多い家庭の負担が大幅に減る。また、給食費を払えない家庭も、安心して給食を利用できるようになる。
- ◆ 子どもたちの健康と学力向上、社会的格差の解消、保護者の負担軽減という観点から必要性が高い。



新井亜由美議員

- ◆ 全ての子どもに平等に教育を受ける権利と機会を保障するため義務教育は無償とされており、給食はその大きな柱の一つとなっている。
- ◆ 物価高騰が止まらない今、学校給食の保護者負担の軽減は、待ったなしであり無償化に向けて足を踏み出すべき。



馬嶋みゆき議員

- ◆ 請願は完全無償化を一気に求めるものではなく財政面を考慮し段階的軽減策を望むもので、柔軟で現実的である。
- ◆ 市民の声に応え無償化に取り組むことは本市の魅力となり、子育て世帯の移住定住の促進にも繋がると考える。

6月27日、本会議最終日に「学校給食無償化を求める請願」は、本会議場で議員が賛成討論と反対討論を行いました。双方の討論の内容をお伝えします。

反対討論

- ◆ 食材費高騰分は市負担としており、4年間で2億2,000万円である。物価高の影響は全世帯のため今は、未就園児や高校生など他の世代にも目を向ける必要があると考える。

- ◆ 令和8年度国が無償化を表明している事もあり、市は限られた予算で安定的に質と量を担保した給食の提供をするように努める必要がある。

- ◆ 給食費無償化は家庭支援として有意義だが、財政や給食の質への影響が懸念される。

- ◆ 無償化に偏重せず、栄養・質・楽しさを守る持続可能な政策を実現していくべき。

採決

請願第2号

採択

採決結果	
出席議員数	25 人
表決総数	24 人
賛成	15 人
反対	9 人



市長提出議案

議案番号	件名	議決結果
第46号議案	瀬戸市市税条例等の一部改正について	可決(全会一致)
第47号議案	高規格救急自動車(救急瀬戸2号車)及び高度救命処置用資器材の買入れについて	可決(全会一致)
第48号議案	瀬戸市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第49号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第50号議案	瀬戸市水道法施行条例の一部改正について	可決(全会一致)
第51号議案	令和7年度瀬戸市一般会計補正予算(第2号)	可決(賛成多数)
第52号議案	令和7年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第53号議案	CD-I型消防ポンプ自動車(東明分団車)の買入れについて	可決(全会一致)
第54号議案	令和7年度瀬戸市一般会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
同意第2号	瀬戸市公平委員会委員の選任について	同意(全会一致)
同意第3号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)
同意第4号	瀬戸市監査委員の選任について	同意(全会一致)
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	同意(全会一致)

請願

議案番号	件名	議決結果
請願第2号	学校給食無償化を求める請願	採択(賛成多数)

議員提出議案

議案番号	件名	議決結果
第4号議案	真に効果のある子育て施策－安全・安心でおいしい給食の提供－を求める決議	否決(賛成少数)
第5号議案	第54号議案 令和7年度瀬戸市一般会計補正予算(第3号)に対する附帯決議	可決(賛成多数)

上記議案のうち賛否の
分かれたもののみ記載

各議員の議案に対する賛否の状況

		自民新政クラブ										公明党 瀬戸市議団		日本共産党 瀬戸市議団		市民の声			新風せと 無所属の会		無会派	無会派	無会派						
議案番号	議員名	黒柳知世	颯田季央	山内精一郎	朝井賢次	高島 淳	西本 潤	小澤 勝	宮 蘭 伸 仁	富田宗一	柴田利勝	三木雪実	三宅 聡	池田信子	長江秀幸	原 誠	新井亜由美	浅井寿美	中川昌也	戸田由久	臼 井 淳	松原大介	馬嶋みゆき	長江公夫	石神栄治	高桑茂樹	伊藤賢二		
第51号議案		○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第2号		×	×	×	×	×		×	×		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 第4号議案		○	○	○	○	○		○	○		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議員提出 第5号議案		○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×

【○】は賛成(採択) 【×】は反対(不採択) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。
富田宗一議員は議長職のため、採決には加わりません。
また、西本潤議員からは欠席届が提出されており、採決には加わっておりません。

私たちが
本市の課題解決
に取り組みます！

新体制の委員会が今後2年間に取り組む、主な調査研究事項をご紹介します。

本市で抱える課題などをはじめ、市民の皆さんとの意見交換会である「せとまちトーク」などでいただいたご意見を踏まえて、今後は、専門家のご意見をいただいたり、関係団体との意見交換、他市の先進事例を視察するなどの調査研究を行ってまいります。



総務生活委員会

◆ 本市の歳入増加のための取り組み

厚生文教委員会

◆ 10年後の新たな図書館の在り方



都市活力委員会

◆ 中心拠点の再開発
◆ 水道事業の広域化連携



議会運営委員会

次回のせと市議会だより
(11月号)でお知らせします。



一般質問

市の行政課題などについて14人の議員が考え方や内容を質問しました。
質問を行った順に、一人ずつ紹介します。



高島 淳
新緑クラブ
自民



消防新庁舎の建設による本市の防災力の向上について

Q 本市消防本署は昭和47年に建設され、老朽化は顕著であり、車両、人員についてもキャパシティ不足が懸念されている。また、職員のモチベーションの低下や離職リスクにつながると考えるが、新庁舎建設の見解を伺う。

A 市役所西隣への消防新庁舎建設については市役所との連携強化はもとより、現場到着の時間の短縮や3署所の連携強化につながる。一方、国や県の動向を踏まえ、広域化研究会で災害対応能力への影響などを研究するとともに、その過程において本市の防災力強化を検討したうえで、消防新庁舎の整備方針について定めていく。(消防総務課)



山内 精一郎
新緑クラブ
自民



本市のまちづくりを都市計画マスタープランから検証する

Q 「しごと」・「ひと」・「まち」の好循環。「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が新たな「しごと」を創り出す。この好循環を持続するために「まちづくり」が必要となる。次期都市計画マスタープランは、中間報告や進捗管理、改訂を行うことが、重要なプロセスと考えるが、見解を伺う。

A 都市計画マスタープランの改訂は、策定委員会を立ち上げ、市民代表や学識経験者などの意見を伺いながら作業を進めていく。中間報告や進捗管理に関しても、策定委員会で検討していく。(都市計画課)



朝井 賢次
新緑クラブ
自民



本市の私立学校助成事業にふるさと納税を活用することについて

Q 先進自治体ではふるさと納税を私立学校助成事業に活用し、教育環境の向上や学校及び保護者の負担軽減に成果を上げている事例も多くみられる。本市においても、ふるさと納税を活用し、私立学校助成事業を拡大推進していくべきと考えるが見解を伺う。

A ふるさと納税を活用した私立学校助成事業の拡大・推進については、ふるさと納税制度の趣旨である本市の地方創生に対する効果の検証や、市民の皆様の理解が得られ、寄附者の方々にも選んでいただける制度設計の検討が必要であると考えている。(政策推進課)



中川 昌也
市民の声



市民に判りやすい透明性のある庁議及び会議のあり方について

Q 本市の庁議及び会議の議事録などは、非公開のものが多くと思う。市民の関心事は、日々市役所で、どんな事が話されているのかである。市民との情報共有と会議の透明性に向け、まずは庁議の過程をホームページで公開すべきと考えるが見解を伺う。

A 市民の皆様や議会への情報発信は、市政の説明責任を果たすためにも重要と考え、進めてきた。今後も、AI技術の活用や他自治体の先進事例などを参考に、広報せとやホームページなどを通じて市政の現状や施策を分かりやすく提供していく。(行政課)

会議の様子は会議録や録画映像でご覧になれます。



Q 市議の質問
A 市の回答



浅井 寿美
日本共産党
瀬戸市議員団



大幅な水道料金値上げは一旦中止し、見直しの検討を

Q 5月1日に出された水道事業経営審議会の答申には、「わかりやすさを重視した広報、十分な周知を」という附帯意見があった。ごみ処理有料化の時も議案提出前に全連区で説明会が実施されている。全市民に影響を及ぼす大幅な水道料金の値上げについては、議会に諮る前に全市民への説明会を実施すべきと考える。9月議会への議案提出は見送り、しっかりと市民に向きあうべきではないか伺う。

A 9月議会への議案の提出は想定するスケジュール案の1つである。答申内容などを説明する機会については、時期や説明方法を含め、現在調整を行っている。(水道課)



浜田 季央
新緑クラブ
自民



市立図書館の今後について考える

Q 図書館は、居住意向に大きな影響を与える施設の1つであり、全国には、図書館の再整備によって人口減少対策や、市外からの誘客に成功した事例が数多くある。人口減少による歳入減少が進むことで、財政悪化が懸念される。このような状況を踏まえ、新図書館の建設について、次期将来計画や次期都市計画マスタープランの中で居住誘導策の1つとして検討するか伺う。

A 次期将来計画における居住誘導の取り組みについて、今後実施する市民意向調査の結果や、基本構想審議会での議論を踏まえながら、将来的な図書館整備も含めて検討する。(政策推進課)



新井 亜由美
日本共産党
瀬戸市議員団



働く親と子どものための放課後児童クラブ(学童保育)について

Q 本市では公立の放課後児童クラブがなく運営を民間団体に委託しているため、利用料金や減免の種類や額が様々である。公的事業を民間団体に委託している市は、市独自の補助金で、利用料金の引き下げや、市内のどの放課後児童クラブを利用しても、等しく減免を受けられるようにする必要があると考えるが見解を伺う。

A 市独自の補助金については、選定基準や費用対効果などを十分に精査する必要がある。また、減免制度の構築については、必要に応じ、各事業所の実態を把握し、公平性や審査基準などを十分に精査する必要があると考えている。(こども未来課)



長江 秀幸
公明党
瀬戸市議員団



本市におけるヤングケアラー支援の取り組みについて

Q 多分野の関係機関を対象に早期発見や理解促進、連携強化に向けた研修会を実施するとともに、ヤングケアラーに気づくためのチェックシートや相談から支援の流れを見える化し、共有することで迅速かつ円滑な相談につながるような取り組みが重要と考えるが見解を伺う。

A ヤングケアラーに気づくために、まずは、ヤングケアラーを正しく理解することが重要と考えている。そのため、研修会については、継続的に行うとともに、学校など関係機関への連携協力を依頼していく。チェックシートの活用については、近隣の事例を調査しながら、今後研究していく。(こども若者家庭センター)

産廃処分場計画を問う（水質・地震の観点から）



日本共産党
瀬戸市議員
原 誠



Q 産廃処理業者側の説明では建設予定地から猿投山北断層までの距離を約1.1kmとしているが、最新の地震研究によれば約0.6kmである。業者が参照している『活断層アトラス』は、1997年に発行されたデータに基づくものであり、今後訂正を求めていくべきと考えるが見解を伺う。

A 業者が参照している『活断層アトラス』も科学的知見に基づいた資料なので、事業者が提出した事業計画書について訂正を求める考えはないが、活断層による影響を受ける可能性を否定できない場所での事業計画であることは認識している。（環境課）

人口減少の対策および対応について



自民
新政クラブ
黒柳 知世



Q 人口減少・少子高齢化が進行しており、地域のつながりの希薄化を危惧している。この課題を解決するための関係人口や二地域居住の必要性について見解を伺う。また、人口減少に特化した組織体制を構築することが必要だと考えるが方針を伺う。

A 人口減少局面を迎える中、関係人口の創出や二地域居住については、地域経済の活性化、地域の担い手不足解消につながり、本市の地方創生に寄与するものであると考えている。また組織体制については、次期将来計画において人口減少社会へ対応する将来像や施策の大綱、主な政策を定めるのでこれらを踏まえた組織体制の構築が必要になるものと考えている。（政策推進課）

市は山路町地内の土砂採取場に産廃処分場計画をなぜ受理したのか



市民の声
白井 淳



Q 令和6年10月16日、県との協議で、市は産廃紛争条例の手続きを進めるにあたり主な懸念点を伝えている。土砂採取許可業者と地元自治会との協定書関係のことや水道水源に近接している点を挙げていたが、どのような懸念があることを県に伝えていたのか伺う。

A 懸念点として、土砂採取許可業者と地元自治会との協定書において「産業廃棄物の埋立は永久的に行わない」とあるため、地元住民から強い反発が予想されることや、市の水道水源地から近い位置であるため、市民の飲み水への不安を招いてしまうことを伝えた。（環境課）

山路町で計画されている産業廃棄物最終処分場について



新風せと
無所属の会
松原 大介



Q 当該産廃処理業者は、今回計画している土地において、以前にも産廃処分場を計画し取り下げた。その後土砂採取許可業者が地元自治会と「産廃埋立は永久的にやらない」との協定を結び土砂採掘を行っているが、再度当該産廃処理業者は、ここで産廃処分場を計画し、協定は別法人であるため継承しないとしている。この2社の関係がポイントだが、登記事項証明書によると、土砂採取許可業者の取締役を務めている人物が、約5年間当該産廃処理業者の取締役も兼任していたことがわかった。この事実と相違ないか伺う。

A 取締役兼任の事実関係については相違ないものと認識している。（環境課）

送迎保育ステーションの設置で通園負担と需要の偏りを解消



新風せと
無所属の会
馬嶋 みゆき



Q 自宅や勤務先近くの保育園に空きがなく、遠い園や兄弟を別々の園に送り届けなければならない保護者もいて、出勤前の大きな負担との声がある。このような場合、送迎保育ステーションを設け、園児を保育園へ送迎する仕組みがあれば保護者の負担軽減や保育ニーズの偏りにも有効と考えるが見解を伺う。

A 送迎保育ステーションを設け園児を保育園へ送迎する仕組みについては、待機児童対策として有効な支援策の一つとして捉えているが実現に向けては安全性・継続性・費用対効果の面で課題があるものと認識している。（保育課）

将来、親となることの意味や価値を知ってもらうために



公明党
瀬戸市議員
三宅 聡



Q 若者が次世代の親となることに意味や価値を見出せるよう、乳幼児とふれあう機会を作ること大切である。育児参画の意識醸成のため、交通児童遊園（せとフルランド）では高校生が赤ちゃんとのふれあいを通し、育児の素晴らしさを体験しているが、このような活動は広げていくべきと考えるが見解を伺う。

A せとフルランドにおいて瀬戸北総合高等学校の生徒がイベントやボランティア活動を通し、乳児や子どもたちと遊んだりふれあう機会の創出を行っている。今後もより多くの若者が参加、体験できるよう取り組んでいく。（こども未来課）

第54号議案 令和7年度瀬戸市一般会計補正予算（第3号）に対する附帯決議

第54号議案

令和7年度瀬戸市 一般会計補正予算（第3号） 図書館施設整備

概要 図書館長寿命化工事において追加の安全対策工事が必要なことが判明したため、設計費用を追加するもの。



今回の改修で図書館整備の議論を終えることなく、まちの価値を高めるための拠点整備の視点からも以下の通り継続して計画することを強く要望する。

- ① 図書館整備を、教育施設としてだけでなく、「滞在したくなるまち」へのイメージ転換を担う都市政策の柱として位置付け、次期都市計画及び総合計画に明記すること。
- ② 現施設の使用に偏重せず、利便性の高い場所への新築・複合化を含めた将来の整備方針を横断的に検討し、その方向性を市民と共有すること。

「自然の叡智」の理念を未来へつなぐ20年目の夏 ～あれから20年、あの感動を次の世代へ～

2005年に「愛・地球博（2005年日本国際博覧会）」が長久手市、瀬戸市で華々しく開催され、世界中の人々に感動と未来への希望を与えました。そして今年、2025年は大阪で「大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）」が開かれています。そこで、今年の議会だよりは、愛・地球博のアーカイブとして、当時の会場の様子などをシリーズとして表紙にしていきたいと思います。あの頃を思い出して頂けたら幸いです。

また、「愛・地球博」20周年を記念して、愛・地球博記念公園にて、「愛・地球博20祭」が開催されています（2025年3月25日（火）から9月25日（木）まで）。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



愛・地球博20祭のPRのために
愛知県が作成した瀬戸市のご当地
モリゾー・キッコロ（瀬戸焼と将棋）



テレビ番組



グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは!瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

6月定例会の番組内容は「新たなメンバーで構成された委員会活動」などについてお送りしました。

次回放送予定

10月27日(月)～11月2日(日)

放送時間 7:10～、9:10～、12:10～、18:10～
20:10～、22:10～

番組がご覧になれます。



ラジオ番組



RADIO SANQ「せとまちradio!」(FM84.5MHz)

放送の前半は定例会のお知らせ、後半では「わたしの好きなせと」について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。

次回放送予定

9月10日(水)、10月1日(水)

放送時間 9:20～、12:30～、18:00～、24:00～

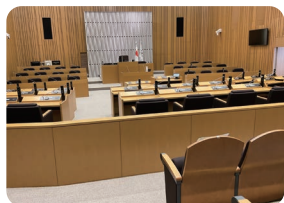
RADIO SANQホームページから
過去の放送分もお聴きいただけます。



傍聴



傍聴をご希望の方は、
北庁舎5階の議会事務局に
お越しください。



インターネット中継



会議の様子をライブ配信
(生中継)・録画配信していま
す。ホームページからアクセ
スしてください。

スマート
フォン・
タブレット
でも!



9月定例会開催予定

9月 5日(金) 本会議(開会・議案上程・説明)
10日(水) 本会議(一般質問)
11日(木) 本会議(一般質問)
12日(金) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会
付託)、予算決算委員会
16日(火) 総務生活委員会、
予算決算委員会総務生活分科会

9月17日(水) 厚生文教委員会、
予算決算委員会厚生文教分科会
18日(木) 都市活力委員会、
予算決算委員会都市活力分科会
25日(木) 予算決算委員会、議会運営委員会
29日(月) 議会運営委員会
30日(火) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が変更される場合があります。
※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。
※請願・陳情の提出締切は、8月20日(水)の午後5時です。

編集後記

今号から議会だより編集作業部会
のメンバーが新しくなりました。今後
2年間の議会だよりを作っていきます。
市民の皆さまにより分かりやすく、
より親しまれる紙面を目指してい
たいと思います。



ご意見・ご感想はこちらから



問合せ先/議会事務局 議事課(市役所5階)
☎88・2740

E-mail▶giji@city.seto.lg.jp

編集・発行/瀬戸市議会
〒489-8701 瀬戸市追分町64-1

瀬戸市議会ホームページ
SNS、YouTubeをチェック!



アプリでも議会だよりをチェック!



マイ広報紙 マチイロ